

単元を貫く問い

目的に応じて話し相手のニーズを知るために、どのようなやり取りをすればよいか。

単元ゴール『新任のALTの不安を解消するプレゼンに向けて、ALTのことを詳しく知るためのやり取りをしよう。』

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

【中村小学校第6学年の(「話すこと[やり取り]」-アイウ)に関するCAN-DOリストより】

- ◆初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をしてそれに応じたり断ったりすることができる。
- ◆日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたり、それに反応したりすることができる。
- ◆自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、その場で質問をしたり答えたり、それに反応したりして短い会話をする事ができる。

【第1学年1学期】

- ◆友達に好きなことやすることについて尋ねたり答えたりすることができる。また、相手が答えたことに関連する質問をしたり、相手の返答に反応を返すことができる。(Unit 1, 2 [やり取り]-ア)

本単元の目標

学習指導要領「話すこと[やり取り]」-ア
関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標「話すこと[やり取り]」1年生①
関心のある事柄について、分からないことや自分が関心のある事などを相手に聞き返しながら、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。

学びに向かう力、人間性等

話し相手によりよい提案をするために、目的・場面・状況に応じて、相手が話したことに関連する内容の質問や確認、提案、相手が興味を持って尋ねてきたことへの答えなどを、即興で伝え合おうとする。

単元終了時のめざす生徒の姿

目的・場面・状況に応じて、話し相手にどのような質問や確認、提案をすべきか判断し、一貫した話題でやり取りしている姿。

知識及び技能

人称代名詞、Which や Whose を用いた英文の文構造を理解する。話し相手によりよい提案をするのに必要な情報を集めるために、話し相手や、話題に上がった人の好みなどについて、人称代名詞や which を用いて、即興で伝え合う技能を身に付ける。

思考力・判断力・表現力等

話し相手によりよい提案をするために、目的・場面・状況に応じて、相手が話したことに関連する内容の質問や確認、提案、相手が興味を持って尋ねてきたことへの答えなどを、即興で伝え合う。

この単元からつながっている領域の付けたい力(◆)と内容(・)

【第2学年】

- ◆夏休みの旅行計画について、相手の質問に答えたり、相手の返答や自分の関心に応じて相手に聞き返したりしながらやり取りすることができる。(Unit 1 [やり取り]-ア)

【第3学年】

- ◆与えられたトピックや関心のある事柄について、自分の考えやその理由などを含めながらやり取りすることができる。(通年：帯活動での Small Talk [やり取り]-ア)
- ◆災害時に ALT が自分で自分の命を守るように、読んだ情報や ALT の困っていることなどを事実として挙げながら、ALT に理由も含め自分の考えをアドバイスしたり答えたりすることができる。(Unit 4 [やり取り]-イ)

【高校】

- ◆日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。([やり取り]-ア)

生徒の実態と指導観

全体として英語でのコミュニケーションに積極的な生徒が多く、1学期に Unit1~2 の内容で実施した、「与えられたトピックについて、ペアで即興のやり取りをする」(学習指導要領における「話すこと [やり取り] -ア」)パフォーマンステストでは、B 評価以上の生徒の割合は 9.6%であった。しかし、定期テスト等の結果では、思考力・判断力・表現力を問う問題と比べ、知識・技能を問う問題の正答率が低く、特に他者紹介をトピックとする、知識・技能を問うための記述式問題においては、正答率が 60.3%であった。スベルミスや語順のミスなども多く、自分の事以外の人やものについて、適切な表現を用いて伝えることに特に課題があるといえる。そのため、やり取りの指導の中においても、話している内容を教師がモニターし、内容面だけでなく言語面での中間指導にも重点を置くとともに、正確な語順や綴りの定着に繋がれるようにするために、話した内容をメモし、正確な語順や綴りを意識させるようにする。また、やり取りの内容については、次の単元で ALT に四万十市での生活に安心感を持ってもらうためのプレゼンをするために「相手のニーズを知る」ことが目的であるということを常に意識させ、目的・場面・状況に応じて、話し相手に何を尋ねる必要があるのかを、思考・判断させるようにしていきたい。さらに、やり取りの内容をタブレットで録音する時間を適宜設定し、記録を残していくことで、生徒が自身の成長を実感できるようにしたい。また会話をつなげていくために重要な聞き手の視点として「類似点」や「相違点」、「疑問点」は何なのかを意識させながら聞かせることで、話し相手が話したことに関連する質問や反応などをして、会話を継続させられるように指導していきたい。

毎時間帯活動として既習事項や新出表現などを用いたスモールトークを行い、「やり取り」をする上での資質向上とともに、表現の定着を図っていく。

課題設定	探究	課題の再設定	探究	課題解決
<p>第1時</p> <p>問：新しく四万十市に来た ALT の不安を解消できるプレゼンにするために、ALT についてどんなことを知る必要があるだろう。</p> <p>○Art 先生から、ALT として働き始めたときに感じた不安や困ったことなどについて話してもらおう。</p> <p>○ALT の話をもとに、新しく四万十市に来る ALT に、何かできることはないか考える。</p> <p>「四万十市のおすすめを紹介する」「いいスーパーを教えてください」「学校の先生を紹介する」など</p> <p>○本当にそれが新しい ALT が知りたい情報なのか、再度考える。</p> <p>→新しい ALT が知りたい情報がどうか判断するには、新しい ALT の情報がなければいけないことを確認する。</p> <p>○次の単元で新しい ALT のためになる情報をプレゼンするために、この単元では、ALT について詳しい情報を得るためのやり取りをしていくことを確認し、単元の見直しを持つ。</p>	<p>第3時</p> <p>問：目的に沿ったやり取りをするには？</p> <p>○話し相手への誕生日プレゼントを、何をあげるか相手にばれないように決めるために、やり取りをする(グループ)。</p> <p>* 相手が望むと思われるものを提案するために、必要な情報を自然なやり取りの中で得ていく。</p> <p>A : Do you like anime? B : No, I don't. I don't watch anime. C : Do you like to listen to music? A : Yes, I do. D : Who is your favorite musician? B : I like ○○. A : Do you have her CDs? * 確認・提案 : You said ~, right? Then, ...</p> <p>第4時</p> <p>問：一緒に参加するコースを決めるために、どのような情報を聞けばよいらう。</p> <p>○複数ある English autumn event のコースのうち、ペアでやり取りをして、一緒に参加するコースを決める。(which を用いた疑問文、教科書 p.69)</p> <p>A : Which do you want to join, A, B, or C? B : I want to join A. A : Really? Why? B : We can cook curry, and I like cooking. How about you? * 振り返りとして、単元ゴールの場面で活用できる表現を記述する。</p>	<p>第6時</p> <p>問：プレゼンをするために、ALT から聞いておかなければいけない情報は？</p> <p>○ALT の情報(好みや困っていることなど)を知るために、ALT とやり取りをする。</p> <p>* やり取りはグループに ALT を入れて行う。</p> <p>S1 : Do you like outdoors? A : Yes, I do. S2 : Which do you want to go to, the river or the sea? A : Uh, ... I want to go to the sea. S3 : We have the "Nashishi Beach" in Shimanto city. Please go to the beach. A : What can I do there? S4 : You can enjoy swimming. A : I don't want to swim in the sea. S : Uh, ...</p> <p>* 『会話の中で、ALT のニーズを知るために、情報をもっと聞き出す必要があった。』など、やり取りをしてみて課題だと感じた点を共有して次時につなげる。</p> <p>* 会話の様子を撮影し、振り返る。</p>	<p>第7時</p> <p>問：対話を成立させるために、どのような内容の発話が考えられるだろう。</p> <p>○さまざまなやり取りの場面(教科書 p.72 含む)を読んだり聞いたりして、文脈に沿った発話を考える。主に聞き手の視点に立って、「類似点」「相違点」「疑問点」などに注意しながら、疑問や反応を考える。(教科書 p.72、疑問詞 whose を用いた疑問文)</p> <p>☆ 国語科「聞き上手になろう」</p> <p>第8時</p> <p>問：どんな情報に注目しながら、やり取りすればよいらう。</p> <p>○四万十市で開催される2つの講演についてのポスターを見ながら、ペアで一緒に行く講演についてやり取りをする。(教科書 p.70)</p> <p>A : Which do you want to join? B : I want to join Daian Kichijitsu's rakugo show. A : Really? Do you want to listen to English rakugo? B : No, I want to listen to Japanese rakugo. A : Japanese rakugo show is on Tuesday, and you are in the music club. You don't have practice on that day!? B : That's true. We have practice on Tuesday. I can't go. A : Are you free on Sunday mornings? B : Yes. A : We have Kikuwashi's shamisen show. How about it?</p>	<p>第9時</p> <p>問：プレゼンをするために、ALT から聞いておかなければいけない情報は？</p> <p>○やり取りの中で、ALT (はどんなことに興味を持ってくれるだろう?)</p> <p>○ ALT と再度やり取りをする。</p> <p>S1 : You said you like the outdoors, right? A : Yes, I like the outdoors. S2 : Then do you like swimming? A : Uh, I am not good at swimming. S3 : Oh, really? What kind of outdoor activities do you like? A : I sometimes enjoy camping. S4 : That's nice. Then, please go to "Tomarotto" or "Kawarakko" A : What are they? S2 : They are the good campgrounds. A : I see. Please tell me more about them. S : What do you want to know? A : I want to know ---.</p>
<p>パフォーマンステスト</p> <p>ALT の好みに合う場所をおすすめするために、ALT のニーズを知るためのやり取りをする。</p> <p>また、やり取りの中でおすすめする場所を選んでおすすめした後に、やり取りの中で得た情報をもとに、ALT からの簡単な問いに答える。</p> <p>* 「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の記録に残す評価を行う。</p>				
<p>(Unit8)</p> <p>やり取りの中で知った ALT の情報(好みや困っていることなど)や ALT が興味を持ってくれたことなどを元に、ALT への詳しく伝えるためのプレゼンを行う。(話すこと(発表)イ)</p>				

【見方・考え方を働かせている生徒の姿】

目的・場面・状況に応じて、話し相手の事をより知ることができるように、相手が話したことに関連する内容の質問や提案などをして、やり取りしている姿。

【見方・考え方を働かせている生徒の姿】

目的・場面・状況に応じて、相手のどのような情報を得るべきかその場で判断し、相手が話したことに関連する内容の質問や確認、提案をしたり、相手が質問してきたことに対して答えたりしながらやり取りしている姿。

【評価規準】

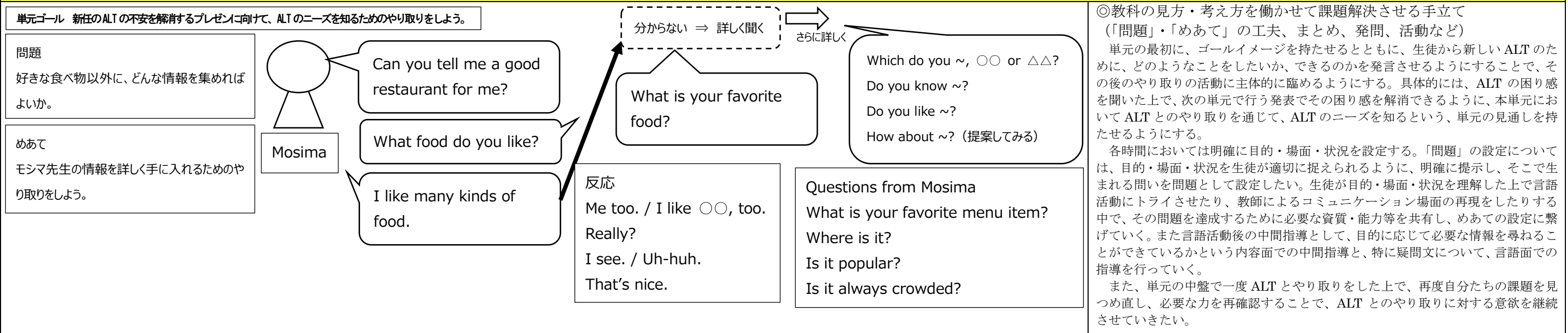
【知】人称代名詞、Which や Whose を用いた英文の文構造を理解している。

【技】話し相手によりよい提案をするのに必要な情報を集めるために、話し相手や、話題に上がった人の好みなどについて、人称代名詞や which を用いて、即興で伝え合う技能を身に付けている。

【思】話し相手によりよい提案をするために、目的・場面・状況に応じて、相手が話したことに関連する内容の質問や確認、提案、相手が興味を持って尋ねてきたことへの答えなどを、即興で伝え合っている。

【主】話し相手によりよい提案をするために、目的・場面・状況に応じて、相手が話したことに関連する内容の質問や確認、提案、相手が興味を持って尋ねてきたことへの答えなどを、即興で伝え合おうとしている。

【本時の目標】 ALT におすすめの飲食店を教えるために、相手やその友人についての情報を得るためにやり取りをする。(本時 4 / 8)
 【本時における見方・考え方】 目的・場面・状況に応じて、話し相手の事をより知ることができるよう、相手が話したことに関連する内容の質問や提案などをしながら会話を続ける。



<p>1. Small Talk “Do you often go to restaurants?” T : S1, do you often go to the restaurants? S1 : Yes, I do. T : What restaurants do you often go to? S1 : I go to Shinatora. T : Me, too. Do you like ramen? ... * 教師と生徒でのモデル後、生徒同士でやり取りを行う。</p> <p>2. 目的・場面状況を共有する。 T : Mosima has something to ask you. ALT : I like cooking. So, I always cook dinner, but I am tired today. So, I want to go to a restaurant to have dinner. Can you tell me a good restaurant for me? T : Do you understand what she asks you? Does she want to cook dinner today? S : No. T : That's right. So what does she want to know? S : A good restaurant. T : Yes. Today, you will tell her a good restaurant in Shimanto. What restaurant is good for her? S : スシロー / 丸亀製麺 ... T : それがモシマ先生に合ったレストラン? S : 分かりません。 T : どうして分からないのですか? S : モシマ先生の好みとかが分からないので、合っているかどうかは分かりません。 T : 好きなことを知りたい? S : 食べ物の好みや、食べられないものがあるかないか。 T : I see. Now, what do you want to do? S1 : I want to ask a question. T : OK, you can ask her a question.</p>	<p>S1 : Mosima sensei, what food do you like? ALT : I like many kinds of food. S1 : Uh, ... T : OK, S1, what restaurant is good for Mosima? S1 : I don't know. T : Why? You asked a question to Mosima. S1 : 情報が足りませんでした。 T : 1つの質問だけでは不十分だったんですね。今気になっていることは? S : 他にどんなことを聞けばよいかです。 問題 『好きな食べ物以外に、どんな情報を集めればよいか』 T : どんな情報集めたらいいですか? S : 特に好きな食べ物 / きらいな食べ物 / 好きなジャンルの食べ物 日本食が好きか T : じゃあ今日はどのような目的でやり取りをしますか? S : モシマ先生の情報を詳しく手に入れるためのやり取りをしよう。 めあて『モシマ先生の情報を詳しく手に入れるためのやり取りをしよう。』 3. 目的・場面状況をもとにペアで話す。 T : Now, you will talk with your partner. S1 asked “What food do you like?” to Mosima, and she answered “I like many kinds of food.” So, please start the conversation with those question and answer. Also, at the end of the conversations, you have to say “○○ is the good restaurant for you.”</p> <p>【生徒の発話例】 A : What food do you like? B : I like many kinds of food. A : What is your favorite food? B : I like sushi. A : Sushiro is the good restaurant for you.</p> <p>T : Many of you did not respond what your partners said. So, please make some reactions. Now, please swap your roles and talk in pairs again.</p>	<p>【生徒の発話例】 B : What food do you like? A : I like many kinds of food. B : Uh-huh. What is your favorite food? A : Uh ... I like ramen and udon. B : Me, too. I like ramen. Shinatora is a good restaurant for you.</p> <p>T : This time, many of you made some good reactions. That was great. What did you ask after your partner said “I like many kinds of food.”? S : What is your favorite food? / Do you like Japanese food? Do you like ~? T : I see. Now, S1, you can try again. S1 : Mosima sensei, what food do you like? ALT : I like many kinds of food. S1 : I see. What is your favorite food? ALT : Uh. I like noodles, such as ramen and udon. S1 : I like ramen too. Do you want to eat ramen or udon? ALT : I want to eat ramen. S1 : That's great. Shinatora is the good restaurant for you. ALT : I see. What is your favorite menu item there? S1 : Uh, ... T : どうしましたか? S1 : モシマ先生からも質問が来て、答えるのに困りました。 T : どうしてモシマ先生は質問してきたんだろう? S : 行くまでに知っておきたいことがある。 / 行くか決めるためには、詳しく知っておく必要がある。 T : ということは、モシマ先生のことを詳しく知るだけじゃなくて、モシマ先生がレストランを決めるために知っておきたいことを伝える必要もありそうですね。 T : Mosima, what else do you want to know about Shinatora? ALT : Uh, ... Where is that? / Is the restaurant popular? Is the restaurant always crowded or not? ...</p>	<p>T : OK. Now, please talk with your partner again. Also, please record your conversations this time. * 板書によるまとめは本時では行わず、最終的なペアでの会話の録音を持ってまとめとする。 * 会話の中で Which などの疑問詞を効果的に用いているものがあれば、全体で共有する。</p> <p>【生徒の発話例】 B : What food do you like? A : I like many kinds of food. B : Uh-huh. What is your favorite food? A : Uh ... I like ramen and udon. B : Me, too. I like ramen. Shinatora is a good restaurant for you. A : I see. What is your favorite menu item? B : I like Shinatora ramen. A : Uh-huh. I want to try it. B : Where is it? A : It's near the station. ...</p> <p>3. 本時の振り返りをする。 T : 今日の会話の音声を見返して、今日できたことや、単元ゴールを達成するために、さらに必要となる力を記述しよう。</p>
<p><指導上の留意点> 生徒が目的・場面・状況について掴むことができるように、インストラクションについて確認をするための質問を設定し、明確にする。</p>	<p><指導上の留意点> ・一つの質問では答えを出せないということに気づきを持たせる。 ・反応を返しながらか話をすすめるように促す。</p>	<p><指導上の留意点> ・尋ねるだけでなく、「実際に行く」という目的のために、ALT からも質問が来るということを確認し、後の生徒同士でのやり取りにつなげる。</p>	<p><指導上の留意点> ・ペアでのやり取りを録音させ、どのような力が付いているか、単元ゴールに向けてどのような力が必要か、内省させる。</p> <p>【思考・判断・表現】 相手のニーズを知るために、目的・場面・状況に応じて、相手が話したことに関連する内容の質問をしたり提案をしたりしている。</p>
<p>評価規準</p>			